

研究テーマ ●実践的な力量形成を実現する社会科授業研究の実践と検証

教育学部・教育学研究科
教育学部・社会科教育・社会認識教育学

教授 溝口 和宏
准教授 田口 紘子

研究の背景および目的

近年、「授業力」向上が注目されています。社会科教師の「授業力」とは何を、どうする力のことなのでしょうか。「授業力」のあるなしは、誰が、どのように判断するのでしょうか。そしてそれらの判断の根拠はどのように説明され、他者に納得されるのでしょうか。

本研究は校内研修などの社会科授業検討会において、授業者と参観者の全員に実りの多い授業研究を実現する方法を提案することを目的とします。

■おもな研究内容

授業研究の目的:

参加者全員の **社会科授業実践力** の向上



社会科授業実践力

⑤授業改善力

④授業分析力

③授業展開力

②授業計画力

①社会科観

目に見えるものなの？

何を
どうする力？

みんなが納得
できるの？

Answer
“社会科カルテ”
の開発→可視化

Answer
20の診断項目
を診断

Answer
診断基準で診断,
診断根拠の記入

期待される効果・応用分野

本研究では、「社会科授業実践力」を「授業計画力」「授業展開力」「授業分析力」「授業改善力」とそれらの土台となる「社会科観」で構成されるととらえています。それらには授業中の教師や子どもの行為（授業の事実）から判断されるレベルやパターンが認められます。「社会科カルテ」は、それらを判断するための診断項目と診断基準を設定しており、診断根拠を記すようになっています。「社会科カルテ」を授業研究で活用することにより、授業研究を充実させることが期待されます。

■共同研究・特許などアピールポイント

- 小・中・高等学校における社会科（社会系教科）の授業研究に関する共同研究を望んでいます。
- 他教科の先生であっても、社会科（社会系教科）授業の分析・改善をすることによって、担当教科の授業研究への応用も可能な研究です。

🗨️ コーディネーターから一言

小・中・高等学校における社会科（社会系教科）の授業実践力を高めるための「社会科カルテ」を開発。教育現場との共同研究を希望しています。他教科への応用も可能です。

研究分野	社会科教育、社会系教科教育、NIE
キーワード	社会科教育における教科論、目標論、カリキュラム論、授業論、授業構成論、評価論